

いわたふっこういじんてん復興偉人伝



大津波おそに襲われたのは、初めてじゃない、
そのたびに復興してきたと聞くけれど…。
医療も、通信も、交通も、防災施設だって
現在よりずっと整わなかった時代に、
どんなひとが、どんな行動をしたの？

やまな ぞうしん
山奈 宗真 (1847 生 - 1909 没)

明治 29 年 6 月 15 日、今から 115 年前に起きた「明治三陸大津波」。

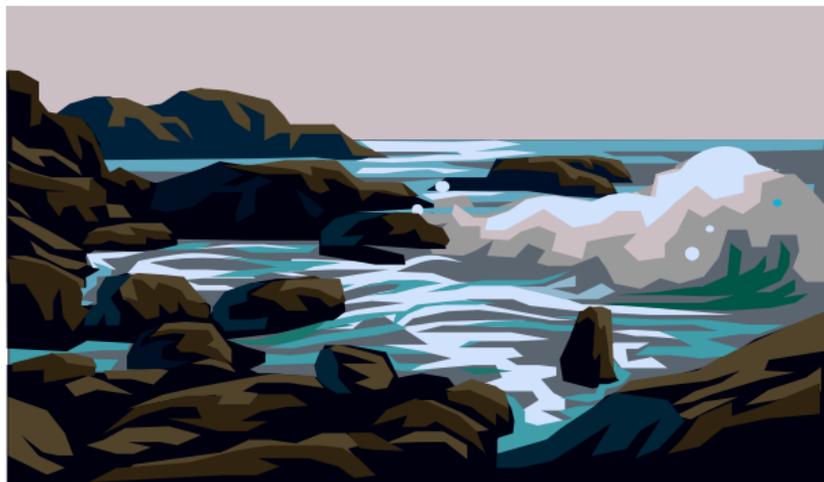
電話もない時代、大津波がきて町がなくなつたらしいとの口コミに続いて、次々と伝えられるひどい被害に 人々は驚き震えあがりました。

このとき、沿岸の漁家・農家を非常に心配し、津波調査員として働きたいと 役所に願い出たのが、遠野で牛馬の育成や養蚕業※などを指導していた 山奈宗真でした。

山奈は当時 49 歳、産業指導者として 多忙な毎日でしたが、現在の陸前高田市から洋野町までの長く複雑な海岸線を、一人歩いて調べていきました。

※カイコを飼って、そのマユから生糸をとる産業

調査の結果を生かして復興ふっこうにつなげようと、
一人の死者も 一戸の流失家屋りゅうしつかおくもおろそかにせ
ず、40 日間かけて全ての部落をまわり 詳しいくわ
記録をのこしたのです。



<津波てんでんこ※>で知られる津波研究家の
山下文男さんは、山奈の調書ちようしよを自分の本で紹介
し、科学的でち密であると高く評価しました。

※助かるために、まわりにかまわず一人でにげろという教え

〔詳しく知ろう☆読んでみよう〕

『津波をみた男』大船渡市立博物館 1997

『哀史三陸大津波』山下文男 || 著 青磁社 1982

おいかわ さかえ

及川 栄 (1857 生 - 1932 没)

明治 29 年の三陸大津波から二日後、岩谷堂町^{いわやどう} (現 奥州市) の 及川栄は、すぐさま薬・包帯・医療器械などを用意し、役所や近村の医者にも救援をよびかけると、その日のうちに被災地^{ひさいち}へむけて馬を走らせました。

そのむごいありさまを知り、今こそ医師という天職をつくそう、わずかな時間^{むだ}も無駄にできないと判断したのです。



及川は、被害の大きかった綾里村（現 大船渡市）に病室を設け、派遣された軍医たちと一緒に、一ヶ月以上も献身的に治療を続けました。それは、ボランティアとして全く無料奉仕の活動でした。

県会議員でもあった及川の日誌を読むと、「何を思い、どのように行動したのか」がわかり、心を打たれます。赤十字社※が支給しようとした金銭も、「たとえわずかであっても、雨露の苦難から彼らを守ることに使って欲しいと思うのみである」と受け取りませんでした。

※紛争や災害時に人道的立場から医療・救難・社会事業など
を行う組織

〔詳しく知ろう☆読んでみよう〕

『岩手の先人第3集』日本教育会岩手県支部 2003

『郷土物語』佐藤孝一 著 1986

わむら こうとく
和村 幸得 (1909 生 - 1997 没)

平成 23 年 3 月 11 日の「東北地方太平洋沖地震」※による大津波。岩手県沿岸の市町村でも、非常に多くの方々が命を落とし、街は がれきにおおわれました。

その中であって、被害が小さく抑えられた と新聞に載ったのが普代村ふだいです。水門ぼんもん※や防潮堤ぼうちやうていによって、津波が村の中心部へ なだれ込むのを防ぐことができたのです。

東北有数の高さを持つ普代水門は、昭和 59 年に完成しました。岩手県が、12 年という年月をかけて造ったものです。

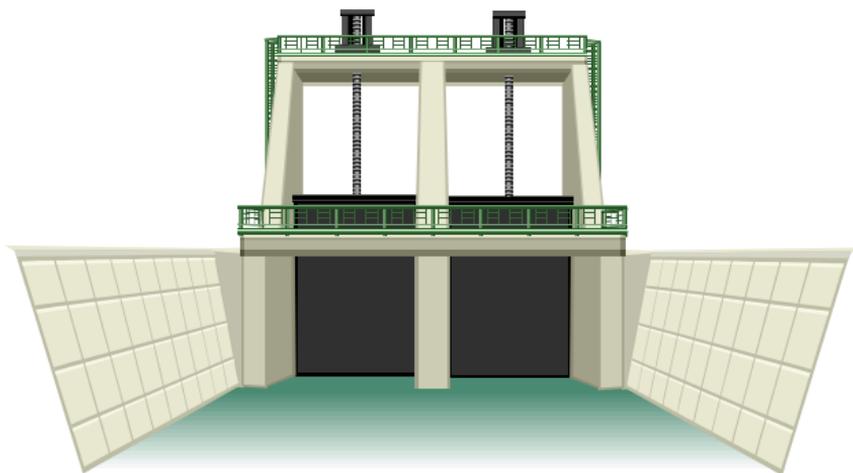
その建設を働きかけたのが、40 年にわたり村長をつとめた 和村幸得でした。

※気象庁の命名「平成 23 年(2011 年)東北地方太平洋沖地震」

当時、水門は一般的に高さ10m前後でしたが、津波の被害をくり返さないために高さが必要だと切実に訴え、15.5mの水門ができたのです。

和村村長は ^{たいにん}退任のあいさつで、「村民のためと確信を持って始めた仕事は、反対があっても説得してやりとげてください。最後には理解してもらえる」と職員に呼びかけました。

※河川や水路に設けられ水量調整のための扉を備えた施設



[詳しく知ろう☆読んでみよう]

「岩手日報」平成23年4月24日 朝刊24面

[普代守った巨大水門 被害を最小限に]

県立図書館にある津波の本を紹介します。借りて読めます。

〔岩手の津波☆歴史を知るなら〕

『津波ものがたり』

山下文男 || 著 童心社 1990

『岩手の理科ものがたり』

岩手県科学教育研究連合会 || 編

日本標準 1982

〔津波☆なぜ? どうして?を知るなら〕

『知ろう!防ごう!自然災害 1 地震・津波・火山噴火』

佐藤 隆雄 || 監修 岩崎書店 2011

いわて復興偉人伝

2011年7月

発行：岩手県立図書館指定管理者

〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通 1-7-1

TEL 019(606)1730 / FAX 019(606)1731